

## 令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 79

千葉県立佐倉東高等学校 全日制の課程 普通科

### 1 期待する生徒像

本校を志願する理由が適切で、基礎学力を有し、次のいずれかに該当する生徒。

ア 中学校時代に学習活動、生徒会活動、学校行事、社会活動等に意欲的に取り組んでおり、入学後も活動する意欲を持っている者。

イ 中学校時代に部活動等に意欲的に取り組んでおり、入学後も活動を継続する強い意志がある者。

### 2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査	学校が定めた次の2つの検査の結果
ア 面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間:1グループ15分
イ 自己表現	次の(ア)、(イ)のいずれかを、出願時に志願者が選択 (ア) 口頭による自己表現 日本語による自己アピール 実施形態:個人で発表 検査時間:2分 (イ) 実技による自己表現 実施形態:個人で発表 (ただし、団体種目は、複数人数で実施) 次の実技のうち1つを選択 ソフトボール(女)・硬式テニス(男女)・剣道(男女)・バレー(女) 野球(男)・バスケットボール(男女)・陸上(男女)・バドミントン(男女) 検査時間:5分

### 3 評価項目及び評価基準

#### (1) 学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科(各教科100点満点)の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

#### (2) 調査書 [320点満点]

アの数値に、イ及びエについて加点(上限50点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	皆勤については加点する。 第3学年の欠席が8日以上、第1学年・第2学年の欠席の日数の合計が21日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

### (3) 学校設定検査〔120点満点〕

#### ①面接〔60点満点〕

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、

a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

aを6点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各30点満点)を合計し、得点化する。

評価cが5つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志願理由	志願理由が明瞭かつ具体的で高校生活に結びつけ適切に答えられている。
イ 入学後の抱負	入学後の抱負や期待が具体的かつ生き生きと語られ、活動意欲が見られる。
ウ 興味・関心	具体的経験をもとに、物事への興味・関心の高さが見られる。
エ 進路	将来の進路に向けての意欲が見られる。
オ 礼法・言葉遣い	身だしなみや言葉遣いが適切で、面接態度も落ち着いて礼儀正しい。

#### ②自己表現〔60点満点〕

次のア、イについて、それぞれ2名の評価者が、5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、

a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

aを6点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各30点満点)を合計し、得点化する。

評価cが5つ以上ある場合は、審議の対象とする。

#### ア 口頭による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) テーマ・内容	与えられたテーマに沿って話をしている。 発表内容が整理されており、まとまっている。 発表内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。
(イ) 表現力	表現力豊かに、分かりやすく発表を行うことができる。
(ウ) 話し方	明瞭かつ正しい言葉遣いで話している。
(エ) 意欲	発表に積極的・意欲的に取り組んでいる。
(オ) 態度	発表における態度が適切である。

#### イ 実技による自己表現

評価項目	評価基準
(ア) 運動能力	当該種目における基礎的な運動能力を身に付けている。
(イ) 基礎的技能	当該種目における基礎的技能を身に付けている。
(ウ) 意欲	当該種目に対して意欲を持って取り組む姿勢が見られる。
(エ) 態度	当該種目に対して真摯な態度で取り組む姿勢が見られる。
(オ) 将来性	当該種目に対して入学後、活躍が期待できる。

#### 4 選抜方法

##### (1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(面接・自己表現)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点		総得点
	評定(K=2)	加点	面接	自己表現	
500点	270点	50点	60点	60点	940点

##### (2)その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 79

千葉県立佐倉東高等学校 全日制の課程 調理国際科

1 期待する生徒像

本校を志願する理由が適切で、基礎学力を有し、次の全てを満たす生徒。

ア 調理分野への興味・関心を持っている者。

イ 入学後も学校生活および社会活動に向上心を抱いて取り組み、活動する意欲を持っている者。

2 選抜資料

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点
(2)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3)学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間:1グループ15分

3 評価項目及び評価基準

(1)学力検査【500点満点】

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2)調査書【320点満点】

アの数値に、イ及びエについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=2を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科が有る場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	皆勤については加点する。 第3学年の欠席が8日以上、第1学年・第2学年の欠席の日数の合計が21日以上ある場合は審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つ以下の場合、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3)学校設定検査(面接)【60点満点】

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、

a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

aを6点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各30点満点)を合計し、得点化する。

評価cが5つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志願理由	志願理由が明瞭かつ具体的で高校生活に結びつけ適切に答えられている。
イ 入学後の抱負	入学後の抱負や期待が具体的かつ生き生きと語られ、活動意欲が見られる。
ウ 興味・関心	具体的経験をもとに、物事への興味・関心の高さが見られる。
エ 進路	将来の進路に向けての意欲が見られる。
オ 礼法・言葉遣い	身だしなみや言葉遣いが適切で、面接態度も落ち着いて礼儀正しい。

#### 4 選抜方法

##### (1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=2)	加点	面接	
500点	270点	50点	60点	880点

##### (2)その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。

令和3年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 79

千葉県立佐倉東高等学校 全日制の課程 服飾デザイン科

1 期待する生徒像

本校を志願する理由が適切で、基礎学力を有し、次の全てを満たす生徒。

ア 服飾分野への興味・関心を持っている者。

イ 入学後も学校生活および社会活動に向上心を抱いて取り組み、活動する意欲を持っている者。

2 選抜資料

(1)学力検査	5教科の学力検査の得点
(2)調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3)学校設定検査	学校が定めた次の検査の結果
面接	受検者5名・評価者2名の集団面接 検査時間:1グループ15分

3 評価項目及び評価基準

(1)学力検査 [500点満点]

評価項目	評価基準
ア 5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。
イ 個々の教科の得点	10点未満の教科がある場合は、審議の対象とする。

(2)調査書 [320点満点]

アの数値に、イ及びエについて加点(上限50点)したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値にK=2を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	皆勤については加点する。 第3学年の欠席が8日以上、第1学年・第2学年の欠席の日数の合計が21日以上ある場合は審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つ以下の場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3)学校設定検査(面接) [60点満点]

2名の評価者が、次の5つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、

a(優れている)・b(標準的である)・c(問題がある)の3段階で評価する。

aを6点、bを3点、cを1点とし、2名の評価者の評価(各30点満点)を合計し、得点化する。

評価cが5つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志願理由	志願理由が明瞭かつ具体的で高校生活に結びつけ適切に答えられている。
イ 入学後の抱負	入学後の抱負や期待が具体的かつ生き生きと語られ、活動意欲が見られる。
ウ 興味・関心	具体的経験をもとに、物事への興味・関心の高さが見られる。
エ 進路	将来の進路に向けての意欲が見られる。
オ 礼法・言葉遣い	身だしなみや言葉遣いが適切で、面接態度も落ち着いて礼儀正しい。

#### 4 選抜方法

##### (1)選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査(面接)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定(K=2)	加点	面接	
500点	270点	50点	60点	880点

##### (2)その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはいはしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

#### 5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。